

如常、諸卿座又如常、帥若大貳座、諸卿座、四方北面設之、鋪菅圓座、賜酒肴、即於南廊壁下拜舞、自仙華門退出、

諸國受領官奏赴任由事、付鎮守府將軍、出羽城介、

諸國受領赴任之由、付藏人奏聞之、隨仰垂御簾、藏人叙位年、件官者不亦垂之、召御前、自仙華門參入、候南廊壁下、傳

宣仰旨兼賜祿、或不召御前、於右近殿陣頭賜祿、但陸奥守加給御衣、或召殿上、自右青瑣門參上、其座同大貳座、奉仰賜祿於南廊壁下拜舞、自仙華門退出、又鎮守府將軍出羽介等、雖非受

領官召御前矣

〔日本後紀平七〕大同四年三月戊辰、是日東山道觀察使正四位下兼行右衛士督陸奥出羽按察使藤

原朝臣緒嗣、爲入邊任辭見內裏、召昇殿上、令典侍從五位上永原朝臣子伊太比賜衣一襲、被等、

〔日本紀略淳和〕天長五年二月甲寅、賜鎮東按察使伴朝臣國道錢、有御製賜衣被及雜珍玩物、

〔續日本後紀仁五〕承和三年四月壬辰、天皇御紫震殿、賜錢入唐大使藤原朝臣常嗣、副使小野朝臣篁

等、命五位已上、賦賜錢入唐之題于時、大使常嗣朝臣欲上壽先候、進止勅許訖、常嗣朝臣避座而進喚

采女二聲、采女擎御盃來、授陪膳采女、常嗣朝臣跪唱平、天皇爲之舉訖、行酒人進賜常嗣朝臣酒、即跪

受飲、竟降自南階拜舞還坐、既而群臣獻詩、別有御製、大使賜而入懷、退而拜舞、賜大使御衣一襲、白絹

御被二條、砂金二百兩、副使御衣一襲、赤絹被二條、砂金百兩、各淵醉而罷、

〔三代實錄三十七〕元慶四年六月七日己丑、從四位上行大貳安倍朝臣貞行詣闕辭見、賜御衣一襲、拜

舞而出、是日親王公卿參侍仗下、遮留貞行、聊命別酌、以內藏錢一萬、充圍碁賭物、酣暢方罷、

〔後拾遺和歌集別八〕よし道の朝臣、十二月のころほひ、うさの使にまかりけるに、としあけば、かうぶ

りたまはらんことなどおもひて、錢たまひけるに、かはらけとりてよみ侍ける、

橘則長

別ちはたつけふよりもかへるさを哀雲ぬにきかんとすらん

〔權記〕長徳元年九月廿七日、戊刻陸奥守實方朝臣令奏赴任之由、先於殿上勸酒一兩巡、內藏察儲者依重喪人